

指定管理者による公の施設の管理運営状況（令和4年度分）

施設名	茨城県水戸生涯学習センター
施設所管課	生涯学習課
指定管理者	（公財）茨城県教育財団
指定期間	R3. 4. 1～R8. 3. 31（5年間）

1 施設の概要

施設所在地	水戸市三の丸1-5-38 茨城県三の丸庁舎3階
施設の概要	施設面積 736.59㎡ 主な施設内容 講座室（3室）、講師控室
業務内容	生涯学習に関する情報、学習機会の場の提供、調査研究等を行い、県民の生涯にわたる学習活動を推進する。 ・主催事業の実施 ・施設の利用等に関する業務 ・施設整備の維持管理に関する業務 ・その他上記に付帯する業務

2 職員の状況

常勤職員： 14人	非常勤職員： 1人	合計： 15人
-----------	-----------	---------

3 収支状況

令和4年度 (単位：円)

収 入		支 出	
指定管理料	90,680,000	人件費（給与等）	61,669,956
利用料収入	1,284,450	指定事業費	8,201,036
指定事業収入	783,460	管理費	19,541,881
本部繰入金（自主事業）	1,292,007	租税公課等	4,776,005
自主事業収入	226,000	自主事業費	1,312,724
その他の収入	835,000		
収入合計	95,100,917	支出合計	95,501,602

4 利用状況

	令和4年度実績	令和3年度実績	令和2年度実績
①年間利用日数(日)	309日	267日	265日
②年間利用者数(人)	18,845人	12,597人	14,696人
③利用料収入(円) (指定管理者收受額)	1,284,450円	746,990円	1,060,300円

5 サービス向上に向けた取組み

- ・講座室利用について、ホームページ掲載やチラシを生涯学習関連施設等に配布し、PRに努めるとともに、講座室利用の割引制度を継続し、学習グループ・団体の生涯学習の場の提供サービスに努めた。
- ・ホームページ上に講座室の空き状況を掲載し（週3回更新）、利用者が予約の際に電話で問い合わせをしなくても確認できるようにした。
- ・講座室利用者及び各事業でアンケートを実施し、よりよい環境作りに努めたほか、オンライン受講推進、学生料金を設定し、次年度以降の企画内容に反映した。

6 利用者満足度調査の結果及び対応状況

○実施方法

講座室利用者及び講座参加者へのアンケートを実施した。

○調査結果

①開館日・開館時間 (52名)

大いに満足 44%、満足 55%、ふつう 0%、不満 1%、大いに不満 0%

②職員・スタッフの応対 (52名)

大いに満足 67%、満足 33%、ふつう 0%、不満 1%、大いに不満 0%

③施設の清潔さ (52名)

大いに満足 58%、満足 42%、ふつう 0%、不満 0%、大いに不満 0%

④プログラムの内容 (176名)

大いに満足 52.1%、満足 40.9%、ふつう 5.1%、不満 1.9%、大いに不満 0%

⑤施設全体 (228名)

大いに満足 46%、満足 53%、ふつう 0%、不満 1%、大いに不満 0%

○利用者からの意見等

【良い点】

- ・空き状況がネットで確認できるのはありがたい。
- ・水戸市内では（特に駅周辺）公共の会場が少ないので助かります。
- ・窓口がソフトで嬉しいです。

【悪い点】

- ・書類が多すぎる。
- ・利用料金が高すぎる。
- ・荷物の搬入のためにスロープがないため不便。

【要望】

- ・プロジェクターを使用するとき、照明を落とすことができればありがたい。
- ・半日練習では準備もあり駐車時間が必要。可能なら5hrを認めてほしい。

○対応状況

- ・ポイントカードのサービスで1回講座室が無料となったため、減免申請書の記入をお願いした。手続き上必要なことを説明し納得いただいた。
- ・利用料金については県の条例で規定されている。当センターとして、平日夜間、当日割引等のサービスがあることを説明。
- ・スロープの設置については、管財課での対応となるため、要望があったことを伝えた。
- ・プロジェクター使用の際の照明について、大・中講座室の電源回路の改修を行い、利用しやすくなったと報告があった。
- ・駐車場の利用サービスについては、「講座室利用時間は無料」として対応している。

7 管理運営状況の評価

評価項目	事業計画 (管理指標)	実績 (管理指標に対するコメント)	自己 評価	所管課 評価
維持管理	設備保守点検は、事業計画等に照らし適切か。	保守点検業者に業務を委託し、適切に管理した。	B	B
	整理整頓・清掃が行き届いているか。 (建物・植栽等)	床及び窓ガラスの清掃、植栽剪定を専門業者に委託し実施した。	B	B
	破損箇所の修繕は適切か。	協定書に従い、指定管理者で対応すべきものの修繕を行った。	B	B
施設運営	使用日数、使用時間等は守られているか。	条例等を遵守し、適切な運営を行った。	B	B
	予約・利用許可等、利用者への対応は平等・公正に行われているか。	細心の注意をはらって対応した。	B	B
	創意工夫により、魅力ある自主事業の実施等、施設の利用拡大やサービスの向上が図られているか、	事業全般について様々な広報媒体を活用したPR活動を実施し、市町村生涯学習関係職員を対象とした企画力の向上事業など、7本の自主事業を展開した。講座室貸出については、利用回数による特典の設定や案内チラシ配布、HP掲載等実績向上に努めた。	A	A
	利用者の要望を把握し、運営に反映させ、満足度を高めているか。	事業ごとにアンケートをとり、利用者の要望等を把握することで、業務改善の参考とした。	A	B
運営体制	職員は適切に配置されているか。	適切に配置した。	B	B
	要望、苦情等への対応は迅速かつ適切か。県へ報告しているか。	対応は職員間で共通認識を図りながら、迅速、適切に行い、県の報告も速やかに行った。	B	B
	事故・災害等、緊急時に備えた体制は確保されているか。	危機管理マニュアルを作成して、緊急時に速やかな行動がとれる体制整備を図った。	B	B
	県、その他関係機関との連携は取れているか。	必要に応じて関係機関との連携は取れている。	B	B
利用状況	利用者数の状況は、計画を達成できているか。	新型コロナウイルスによる講座室利用制限の影響により、利用者数は見込みを下回る結果となった。	C	C
	施設の稼働率は、事業計画に照らして適当な水準にあるか。	学習活動の場の提供サービス(講座室貸出)について見込みを下回る結果となった。	C	B
収支状況	収支計画が適正に執行されているか。	新型コロナウイルスによる講座室利用制限等により、利用料収入が減少したが、収支計画に基づき適正に予算執行した。	B	C
	経費削減に向けた取組みがされているか。	必要な経費については適切に支出し、その上で今期も経費削減に努めた。	B	B

【総合評価】・・・各評価項目及び施設の性格・特殊性を考慮した総合的な評価

年齢層に応じた広報媒体を活用してPR活動を行ったり、参集型・オンライン型を選択できる講座を実施したりして、工夫して研修や講座を実施した。また、講座室の貸出については、平日夜間・当日利用を割引にしたり、利用回数に応じて特典を設定したりして工夫している。

以上のことから、総合的に見て、良好であると評価できる。

- ※ ・実績（管理指標に対するコメント）欄については、指定管理者が記入する。
- ・総合評価欄については、所管課が記入する。
- ・自己評価、所管課評価欄について

評価	評価基準
A	事業計画を上回る成果があったもの
B	事業計画どおりの成果があったもの
C	事業計画を下回っており、改善努力が必要なもの